

第6章 ダム・水門等の操作

1 ダム・水門等

(1) 河川区間のダム・水門（洪水）

ダムおよび水門等の管理者は、常に当該施設が十分その機能を発揮できるよう努めるとともに、特に、水防活動時においては、適正な操作を行い、水害の軽減、防止に努めるものとする。

ダムおよび水門等の管理者は、気象警報・注意報等および洪水予報・水防警報が発表されたとき、又は雨量、水位、流量等の気象状況を考慮し、洪水時又は洪水のおそれがあると認めるときは、各施設の操作規則に基づき、的確な操作を行うものとする。

水防上重要なダムおよび水門等は、次のとおり。

ダム名 旭川 雄物川右支川 旭川

形式	堤高	堤頂長	堤体積	堤頂標高	集水面積	貯水池面積	総貯水容量	有効貯水容量
重力式 コンクリート	m	m	m ³	m	k m ²	k m ²	m ³	m ³
	51.5	380.0	125,000	146.5	34.4	0.35	5,200,000	4,200,000
堆砂容量	サーチャージ容量	予備放流量	洪水調節容量	常時満水位	サーチャージ水位	洪水期間制限水位	予備放流水位	堆砂位
m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m
1,000,000	4,200,000	-	4,200,000	128.5	144.5	-	-	125.0
計画高水流量	計画放流量	調節流量	洪水流量	発電最大使用水量	発電常時使用水量	発電最大出力	発電常時出力	洪水調節方式
m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	k w	k w	
220	50	170	40	-	-	-	-	自然調節
着手年月日	完成年月日	放流設備						
s43.4	s48.3	クレストラジアルゲート 2門 コンジットコースターゲート 1門 コンジットラジアルゲート 1門						

ダム名 岩見 雄物川右支川 三内川

形式	堤高	堤頂長	堤体積	堤頂標高	集水面積	貯水池面積	総貯水容量	有効貯水容量
重力式 コンクリート	m	m	m ³	m	k m ²	k m ²	m ³	m ³
	66.5	242.0	197,000	152.5	73.1	0.95	19,300,000	16,000,000
堆砂容量	サーチャージ容量	予備放流量	洪水調節容量	常時満水位	サーチャージ水位	洪水期間制限水位	予備放流水位	堆砂位
m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	非洪水期 m	m
3,300,000	3,300,000	-	12,500,000	147.5	150.5	133.0	133.0	124.0
計画高水流量	計画放流量	調節流量	洪水流量	発電最大使用水量	発電常時使用水量	発電最大出力	発電常時出力	洪水調節方式
m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	k w	k w	
660	30	630	30	12.0	4.29	5,400	1,100	一定量
着手年月日	完成年月日	放流設備						
s47.4	s54.3	クレストラジアルゲート 2門 コンジットコースターゲート 1門 コンジットホロージェットバルブ 1門						

(2) 河口部・沿岸部の水門・閘門（津波・高潮）

河口部・沿岸部の水門・閘門の管理者は、常に当該施設が十分にその機能を発揮できるよう努めるとともに、特に、水防活動時においては、適正な操作を行い、水害の軽減、防止に努めるものとする。

河口部・沿岸部の水門・閘門の管理者は、大津波警報、津波警報が発表された場合には安全確保のため直接操作をさせないなど、操作員の安全確認を最優先にしたうえで、各施設の操作規則等に基づき、的確な操作を行うものとする。

2 操作の連絡

ダムおよび水門等の管理者は、各施設の操作規則等に基づき、放流等の情報を直ちに河川管理者、所管地域振興局建設部、下流地域等の水防管理団体、関係機関等に迅速に連絡するものとする。

3 連絡系統

操作規則等に従って連絡し、やむを得ない理由により、この系統によりがたい場合はあらゆる手段を尽くして迅速確実に連絡する。